



井川 利尾先生を偲んで

2019年6月19日、66歳で井川利尾先生がご逝去されました。余りに早い訃報に大変驚きました。

井川先生は、埼玉大学教育学部小学校課程を卒業後、京都市立小学校7校で教諭としてお勤めになり、その後、京都市教育委員会総合教育センター図画工作科指導主事として教員の指導力向上や学校の校内研究の伸展に尽力されました。京都市立宇多野小学校校長時代には、文部科学省の教育課程研究指定校事業として「表現と鑑賞との関連を深め育成すべき資質や能力を明確にした授業デザイン」について研究をされ、2012年に全国から多くの参加者を迎え成果報告会を開催されました。2013年3月に京都市立宇多野小学校を定年退職、4月に大谷大学に任期制講師として着任され、教科(図画工作)、初等科教育法(図画工作)、教育・心理学演習等をご担当されました。日常生活の中で豊かに感じ取る体験を積み重ね感性を培うこと、発想力や構想力を生かして創り出す喜びを味わうことが大切であると常々学生にお話しになり、きめ細かく丁寧な指導をされていました。校長時代に大きな手術をされましたが、「大谷大学に寄せてもらってとても身体の調子がよくなった。夏の休暇に屋久島に行って縄文杉を見たが、生命の不思議を感じた。」と生き生きとお話しになっていたことを思い出します。

教員としての自分の人生に思い残すことはないとおっしゃって旅立たれたと奥様からお聞きしました。ただ一つ心残りがあるとするなら御息の結婚式に参列できなかったことだということです。

教育・心理学科で一緒に仕事をさせていただきましたことに心より感謝申し上げます。どうぞ安らかに眠りください。

大谷大学教授 市川 郁子